



金屋町通信

発行元：

金屋町まちづくり協議会

発行・編集 責任者：

般若慎一郎

「大仏が給食当番してる！〜〜息子よ、警報とか出てて不謹慎なんだけど、お母さん今日一番笑ったわ」1月の大雪の時に、ある人がこの短文を雪の白エプロンを着た高岡大仏の写真と共にツイッターに書き込んだことが大うけして、このユーモラスな情報が日本中を駆け巡ったそうです。



61名が参加！にぎやかに まんよう荘で総会&新年会

2月10日、まんよう荘において61名が出席して、金屋町の今年度総会と新年会を開催しました。

自治会長から連動型火災警報器設置について話がありましたが、この3月に本町6世帯（2組）に設置し、その後12月までに本町・中町・西町の全世帯と、上町の10世帯に設置する予定です。そして31年度に残りの上町・東町・古町・宮川町の全世帯に、設置完了する見込みです。



新聞紙のゲーム



一本締めでお開き

余興として新聞紙を手で引き裂いて、30秒でなるべく長くするというゲームをしました。

金屋学講座のお知らせ

日時：3月17日（土）

19：00～20：30ごろ

場所：金屋町公民館

講師：藤田晴久さん

演題：「かなや物語」懐古

—金屋町まちづくりのはじめ—



藤田さんは瑞穂町自治会長で、西条校下連合自治会長です。現役時代は市の都市整備部

など建設部門でまちづくりに従事され、金屋町のまちなみ整備に尽力された方です。

当時は金屋町通りの拡幅計画もあったそうですが、それがどのようないきさつで石畳になり、その後に景観保存地区になるに到ったのかなど、今となってはぼやけてしまった昔の記憶を蘇えらせる機会として、興味深い話が聞けるものと思います。多くの住民の方々の参加をお待ちします。

先ず全員が挑戦し、ついで各テーブルの代表選手が前へ出て競い合うというゲームです。結果、30秒で一番長く新聞紙を切り裂いたのは

中町の新保智子さんでした。

いきいきサロン サクソ生演奏の会



2月11日、金屋町公民館に立山町からサクソ奏者の松島厚さんを招き、およそ35名ほどの住民がサクソ生演奏を楽しみました。何曲も連続して演奏するとかなり疲労するらしく、曲の合間に雑談を入れたりして体を休めながらの演奏でした。特にくちびるから空気が漏れないようにぐっと力を込めている顎の関節がとても疲れるそうです。

演奏の他に、お茶と生ケーキ・御菓子などいただきながら、世間話も楽しみました。民生委員の島さん他、お世話役の方々には大変お疲れ様、そして有難うございました。

上市の西田美術館で 高橋ゆりさん個展

2年余り前から金屋古町に住んでいる高橋ゆりさんが個展を開催し、2月17日にはギャラリートークをするというニュースをキャッチして、金屋町から即席応援団4名が上市町の西田美術館へ行ってきました。

「ART BOX 152 -第10回展- 高橋ゆり COC00N」というタイトルで、大作・小品合わせて19点ほどが展示されています。ART BOX 152というのは、約152平米の展示室を自由な創作発表の空間として提案し、富山県にゆかりのある若手～中堅作家を選抜し、個展形式で発信してもらおうとスタートした連続展で10回目だそうです。

COC00Nというのは「さなぎ」という意味ですが、作品は板に貼った和紙をベースに、水彩、鉛筆、コーヒー、紅茶、胡粉、アクリルなど様々な画材を使い、シュールで怪しげな画風で不思議な心象世界を表現しています。

ちなみに高橋さんは西田美術館の学芸員でもあります。展示は3月11日まで、月・火曜日は休館です。



さまのこハウス進捗

工期がかなり遅れていますが、千保川沿いの新築部分が形になってきました。ここは宿泊室が2室、キッチン・ダイニング、浴室、車庫などで構成されます。建物の前に邪魔な電柱がありますが、近いうちに撤去される予定で、配線は既に新しい電柱に切り替え済みです。写真は千保川の対岸から撮ったものです。

1月の金屋町拡大会議

- ・ 総会資料の内容確認
- ・ 総会、新年会の各町出席人数確認
- ・ その他